

イタリアの言語とコミュニケーション・基礎LA
特殊講義(イタリアの言語とコミュニケーション・基礎)GA
ヴィジョン形成特殊講義LA

12034

授業開講期間 通年 単位数 4 配当回生 1回生以上
担当教員 ANTONIO MAJERU

講義内容・テーマ

イタリア語の日常会話の基礎を学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

*筆記試験:定期試験として実施
*日常点:加味する
出席率、授業への参加度、期末テストの結果による評価。

講義スケジュール

1・2 自己紹介・挨拶
3・4 物や所や人を描写する
5・6 感情と気持ちを表現する
7・8 好みに関して話す
9・10 時間を言う
11・12 天気に関して話す
13・14 情報を尋ねる
15・16 許可を求める
17・18 ものを頼む
19・20 招待する
21・22 買い物をする
23・24 できごとを語る
25・26 自分の習慣に関して話す
27・28 意見や希望などを表現する
29・30 将来に関して話す

テキスト

授業中にプリントを配布する。

参考書

教室で指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

尚、文学部の初修外国語(イタリア語・基礎、展開、表現、応用)を受講している学生は、この授業を受講しないようにしてください。

イタリアの言語とコミュニケーション・基礎LB

15354

特殊講義(イタリアの言語とコミュニケーション・基礎)GB

ヴィジョン形成特殊講義LB

授業開講期間 通年単位数 4配当回生 1回生以上担当教員 ANTONIO MAJERU講義内容・テーマ

イタリア語の日常会話の基礎を学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

*筆記試験:定期試験として実施

*日常点:加味する

出席率、授業への参加度、期末テストの結果による評価。

講義スケジュール

- 1・2 自己紹介・挨拶
- 3・4 物や所や人を描写する
- 5・6 感情と気持ちを表現する
- 7・8 好みに関して話す
- 9・10 時間を言う
- 11・12 天気に関して話す
- 13・14 情報を尋ねる
- 15・16 許可を求める
- 17・18 ものを頼む
- 19・20 招待する
- 21・22 買い物をする
- 23・24 できごとを語る
- 25・26 自分の習慣に関して話す
- 27・28 意見や希望などを表現する
- 29・30 将来に関して話す

テキスト

授業中にプリントを配布する。

参考書

教室で指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

尚、文学部の初修外国語(イタリア語・基礎、展開、表現、応用)を受講している学生は、この授業を受講しないようにしてください。

イタリアの言語と文化・基礎LA
特殊講義(イタリアの言語と文化・基礎)GA
ヴィジョン形成特殊講義LC

10912

授業開講期間 通年

単位数 4

配当回生 1回生以上

担当教員 ANTONIO MAJERU

講義内容・テーマ

授業で習うイタリア語文法基礎を日常会話に応用しながら、イタリア文化と日本文化の相違に関して、議論する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

*筆記試験:定期試験として実施

*日常点:加味する

出席率、授業への参加度、期末テストの結果による評価。

講義スケジュール

- 1・2 発音とつづり字
- 3・4 名詞と定冠詞・不定冠詞
- 5・6 形容詞
- 7・8 比較級
- 9・10 助動詞(essereとavere)
- 11・12 動詞 直説法現在形と進行形
- 13・14 動詞 直説法近過去形
- 15 前置詞
- 16・17 代名詞
- 18・19 再起動詞・名動詞・相互再帰動詞
- 20・21 動詞 未来形
- 22・23 動詞 直説法半過去と大過去
- 24・25 動詞条件法 現在形と過去形
- 26・27 動詞 遠過去
- 28・29 動詞 接続法
- 30 接続詞

テキスト

教室で指示する。

参考書

教室で指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

尚、文学部の初修外国語(イタリア語・基礎、展開、表現、応用)を受講している学生は、この授業を受講しないようにしてください。

イタリアの言語と文化・基礎LB

12147

特殊講義(イタリアの言語と文化・基礎)GB

ヴィジョン形成特殊講義LD

授業開講期間 通年単位数 4配当回生 1回生以上担当教員 ANTONIO MAJERU講義内容・テーマ

授業で習うイタリア語文法基礎を日常会話に応用しながら、イタリア文化と日本文化の相違に関して、議論する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

*筆記試験:定期試験として実施

*日常点:加味する

出席率、授業への参加度、期末テストの結果による評価。

講義スケジュール

- 1・2 発音とつづり字
- 3・4 名詞と定冠詞・不定冠詞
- 5・6 形容詞
- 7・8 比較級
- 9・10 助動詞(essereとavere)
- 11・12 動詞 直説法現在形と進行形
- 13・14 動詞 直説法近過去形
- 15 前置詞
- 16・17 代名詞
- 18・19 再起動詞・名動詞・相互再帰動詞
- 20・21 動詞 未来形
- 22・23 動詞 直説法半過去と大過去
- 24・25 動詞条件法 現在形と過去形
- 26・27 動詞 遠過去
- 28・29 動詞 接続法
- 30 接続詞

テキスト

教室で指示する。

参考書

教室で指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

尚、文学部の初修外国語(イタリア語・基礎、展開、表現、応用)を受講している学生は、この授業を受講しないようにしてください。

イタリアの言語と文化・入門LA
特殊講義(イタリアの言語と文化・入門)GA
ヴィジョン形成特殊講義LE

14388

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 1回生以上

担当教員 竹山 博英

講義内容・テーマ

イタリアを様々な文化的側面からとらえ、その多様性を浮き彫りにする。
基本的な知識から出発しながら、イタリアの文化の魅力を描き出すことを目的としている。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

この授業は「イタリアの言語と文化・基礎」「イタリアの言語とコミュニケーション・基礎」を受講している学生のための入門講義である。従って受講者は上記の科目を受講していることが好ましい。

評価方法・基準

- *レポート:試験に代わるレポートとして実施
- *日常点:加味する

講義スケジュール

イタリアの歴史、政治、社会、文化(映画、文学、美術、建築など)について、そのつどいくつかのトピックを取り上げ、それについて論じながら、基本的な知識から、より深い知識まで、広い知見が得られるような授業を目指している。学生諸君の参加も求める予定である。

テキスト

テキストは特に決めないが、教室でそのつど参考書を指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

イタリアの言語と文化・入門LB
特殊講義(イタリアの言語と文化・入門)GB
ヴィジョン形成特殊講義LF

14499

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 1回生以上

担当教員 竹山 博英

講義内容・テーマ

イタリアを様々な文化的側面からとらえ、その多様性を浮き彫りにする。
基本的な知識から出発しながら、イタリアの文化の魅力を描き出すことを目的としている。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

この授業は「イタリアの言語と文化・基礎」「イタリアの言語とコミュニケーション・基礎」を受講している学生のための入門講義である。従って受講者は上記の科目を受講していることが好ましい。

評価方法・基準

- * レポート: 試験に代わるレポートとして実施
- * 日常点: 加味する

講義スケジュール

イタリアの歴史、政治、社会、文化(映画、文学、美術、建築など)について、そのつどいくつかのトピックを取り上げ、それについて論じながら、基本的な知識から、より深い知識まで、広い知見が得られるような授業を目指している。学生諸君の参加も求める予定である。

テキスト

特に決めないが、教室でそのつど参考書を指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

イタリアの言語とコミュニケーション・応用 LA
特殊講義(イタリアの言語とコミュニケーション・応用)GA
ヴィジョン形成特殊講義LH

14243

授業開講期間 通年

単位数 4

配当回生 2回生以上

担当教員 SERGIO PELA

講義内容・テーマ

THE PURPOSE OF THIS COURSE, MAINLY BASED ON CONVERSATION, IS TO IMPROVE AND DEVELOP THE STUDENTS ABILITY IN UNDERSTANDING, SPEAKING AND READING THE ITALIAN LANGUAGE AND THUS TO ACQUIRE SOME KNOWLEDGE OF ITALIAN CULTURE AND WAY OF LIFE.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点:加味する

GRADING WILL BE BASED ON ATTENDANCE, PARTECIPATION AND PREPARATION

講義スケジュール

DURING THE COURSE VARIOUS SUBJECTS AS BOOKS, MUSIC, FILMS, YOUTH THE CONTEMPORARY WORLD AND ASPECTS OF ITALY WILL BE EXAMINED AND DISCUSSED WITH THE SUPPORT OF NEWSPAPER ARTICLES, EXTRACTS FROM ITALIAN AUTHORS AND MATERIAL SUPPLIED BY TEACHER ACCORDING TO THE STUDENT S KNOWLEDGE OF ITALIAN AND FOR THE PURPOSE OF IMPROVING IT.

テキスト

PHOTOCOPIES WILL BE SUPPLIED BY TEACHER

参考書

ITALIAN-JAPANESE AND JAPANESE-ITALIAN DICTIONARY

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

イタリアの言語とコミュニケーション・応用 LB
特殊講義(イタリアの言語とコミュニケーション・応用)GB
ヴィジョン形成特殊講義L1

14432

授業開講期間 通年

単位数 4

配当回生 2回生以上

担当教員 SERGIO PELA

講義内容・テーマ

THE PURPOSE OF THIS COURSE, MAINLY BASED ON CONVERSATION, IS TO IMPROVE AND DEVELOP THE STUDENTS ABILITY IN UNDERSTANDING, SPEAKING AND READING THE ITALIAN LANGUAGE AND THUS TO ACQUIRE SOME KNOWLEDGE OF ITALIAN CULTURE AND WAY OF LIFE.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点:加味する
GRADING WILL BE BASED ON ATTENDANCE, PARTECIPATION AND PREPARATION

講義スケジュール

DURING THE COURSE VARIOUS SUBJECTS AS BOOKS, MUSIC, FILMS, YOUTH THE CONTEMPORARY WORLD AND ASPECTS OF ITALY WILL BE EXAMINED AND DISCUSSED WITH THE SUPPORT OF NEWSPAPER ARTICLES, EXTRACTS FROM ITALIAN AUTHORS AND MATERIAL SUPPLIED BY TEACHER ACCORDING TO THE STUDENT S KNOWLEDGE OF ITALIAN AND FOR THE PURPOSE OF IMPROVING IT.

テキスト

PHOTOCOPIES WILL BE SUPPLIED BY TEACHER

参考書

ITALIAN-JAPANESE AND JAPANESE-ITALIAN DICTIONARY

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

イタリア文化講読 L
特殊講義(イタリア文化講読)GA
ヴィジョン形成特殊講義LG

11130

授業開講期間 通年

単位数 4

配当回生 2回生以上

担当教員 ANTONIO MAJERU

講義内容・テーマ

イタリア語の文献の講読。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

*筆記試験:定期試験として実施

*日常点:加味する

出席率、授業への参加度、期末テストの結果による評価。

講義スケジュール

イタリアの文化に関する基本的な文献を読む。

尚、文献の内容による日常会話をする。

テキスト

授業中にプリントを配布する。

参考書

教室で指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他